

令和 3年3月8日

報道機関 各位

**富山大学と熊本大学が設置・運営する「先進軽金属材料国際研究機構」に関する協定書の締結について（記者会見のご案内）**

このたび、富山大学（学長 齋藤 滋）と熊本大学（学長 原田 信志）は、富山大学先進アルミニウム国際研究センター及び熊本大学先進マグネシウム国際研究センターが有する資源を有効に活用し、SDGs、環境・エネルギー、防災・減災、医療機器等の重要課題解決に向け、軽金属材料の革新を基軸にした世界的・全国的な研究及び教育の総合的推進を目的として、令和3年4月に先進軽金属材料国際研究機構を共同で設置します。

同機構の設置にあたり、富山大学及び熊本大学との間で協定を締結することとし、下記のとおり締結式並びに共同記者会見を開催します。

については、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

## 記

## 1. 日時

令和3年3月15日（月）10：40～11：20

（協定書締結式、共同記者会見）

## 2. 場所

ANA クラウンプラザホテル富山 富山市大手町2-3 3階 中宴会場 ASUKA

## 3. 出席者

## 【富山大学】

齋藤 滋 富山大学長  
北島 勲 富山大学研究担当理事  
松田 健二 富山大学先進アルミニウム  
国際研究センター長

ほか関係者

## 【熊本大学】

原田 信志 熊本大学長  
松本 泰道 熊本大学研究担当理事  
河村 能人 熊本大学先進マグネシウム  
国際研究センター長

ほか関係者

## 【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター（柴柳敏哉）  
TEL. 076-445-6831 e-mail: toshiya@sus.u-toyama.ac.jp熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター（河村能人）  
TEL. 096-342-3721 e-mail: rivervil@gpo.kumamoto-u.ac.jp

## 【報道に関する問い合わせ先】

富山大学 総務部総務・広報課  
TEL. 076-445-6028熊本大学 総務部総務課広報戦略室  
TEL. 096-342-3122

航空宇宙技術、モビリティ技術、バイオテクノロジー、メディカルデザイン等の先端技術の革新やSDGs および Society 5.0 の達成、環境・エネルギー、安心安全・防災・減災技術等の国内外の重要課題に向けて、軽量で生体親和性を持つ「軽金属材料（アルミニウム・マグネシウム・チタン）」の革新が大きな鍵を握ります。このため、世界各国が軽金属材料を戦略材料に位置付けて研究開発を精力的に進めています。

軽金属材料は我が国の経済・社会の発展を支え、世界と戦える強みを有する技術である一方、最近では、欧米に加えて中国や韓国の台頭が著しく、その強みが徐々に失われている危機に直面しています。

特に、我が国では軽金属材料研究に総合的に取り組んでいる研究機関が無く、下表に示すように、個々の軽金属材料で見ても、富山大学と熊本大学がそれぞれアルミニウムとマグネシウムの研究を組織的に取り組んでいるのみで、チタンに至っては組織的に取り組んでいる研究機関が無い状況であり、このままでは各国の研究に大きな後れを取ることになり、材料分野で世界の最先端を走っている日本が衰退する恐れがあります。

表 各金属の国際会議での発表件数が多い世界の研究機関（上位 10 機関）

| 順位 | マグネシウム             | アルミニウム                  | チタン                    |
|----|--------------------|-------------------------|------------------------|
|    | 出展： Mg国際会議(Mg2018) | 出展： Al国際会議(ICAA16、2018) | 出展： Ti国際会議(Ti2019)     |
| 1  | ブルネル大学(イギリス)       | ケベック・シクチミ大学(カナダ)        | 西北工業大学(中国)             |
| 2  | ヘルムホルツ研究所(ドイツ)     | ラヴァル大学(カナダ)             | 中国科学院金属研究所(中国)         |
| 3  | カレル大学(チェコ共和国)      | ノルウエー科学技術大学(ノルウエー)      | 西北有色金属研究院(中国)          |
| 4  | <b>熊本大学(日本)</b>    | ブルネル大学(イギリス)            | ロレーヌ大学(フランス)           |
| 5  | 上海交通大学(中国)         | ウオータールー大学(カナダ)          | ハルビン工業大学(中国)           |
| 6  | 重慶大学(中国)           | 重慶大学(中国)                | シェフィールド大学(イギリス)        |
| 7  | ハルビン工業大学(中国)       | <b>富山大学(日本)</b>         | トゥールーズ大学(フランス)         |
| 8  | 韓国生産技術研究院(韓国)      | ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)     | オハイオ州立大学(アメリカ)         |
| 9  | 中国科学院金属研究所(中国)     | 韓国生産技術研究院(韓国)           | マンチェスター大学(イギリス)        |
| 10 | アーヘン工科大学(ドイツ)      | SINTEF(ノルウエー)           | インペリアル・カレッジ・ロンドン(イギリス) |

軽金属材料を用いた殆どの応用製品は、複数の軽金属材料を適材適所で組み合わせる使用することから、個々の軽金属材料の高性能化に加えて、構造体としての最終製品の高性能化も重要であり、アルミニウム・マグネシウム・チタンのマルチマテリアル化技術が軽金属材料の革新には必要不可欠となっています。

このような状況から、アルミニウムの研究拠点である富山大学とマグネシウムの研究拠点である熊本大学が連携し、富山県と熊本県の地域産業の特徴を踏まえ、アルミニウム・マグネシウム・チタンという三大軽金属を総合的に扱う「先進軽金属材料国際研究機構」を新設して、材料開発から社会実装に至る一貫通貫の研究体制を備えた世界に伍する日本初の軽金属国際研究教育拠点を構築します。これにより、リソースの有効活用と相互補完によるアルミニウム・マグネシウム研究の強化、チタン研究の育成、アルミニウム・マグネシウム・チタンの融合研究の促進および軽金属モノづくり高度人材育成を図り、日本の科学技術と産業の発展に貢献します。